



夢実現・挑戦

津奈木中学校学校だより

令和8年2月25日

第14号

文責：校長 内場

人に優しい社会の実現に向けて

先月末に、3年生を対象にした「認知症サポーター養成講座」が実施されました。講座では、あけぼの苑の林様に講師をしていただき、様々な事例を提示していただきながら、自分たちの対応を考えるものでした。物忘れをするお年寄りへの声かけを問われた3年生の多くは、優しい声かけや対応を考えてくれており、心根の優しさを実感したひと時でした。

12月に実施されたi-check（生徒質問紙調査）によると、「小さい子やお年寄りが困っている時は、迷わず手助けしていますか」の質問に「なかなか行動できない」と回答した1,2年生の生徒が3割程度いました。その反面、「友達の様子を慮り『自分だったら』を考え行動することができる」と回答した生徒は4割強います。また、「やっているが失敗も多い」と回答した生徒も4割強いました。相手の立場に立って考えることができている子供たちが育っていることを実感します。やった後で失敗するのは、行動を起こしたからこそその結果です。やってみることが大事だと思います。それを繰り返すうちに、望ましい行動の在り方が蓄積されていきます。子供たちよ、空振りを恐れずに、まずは、やってみよう！

美味しくなれ！寒漬け大根

1年生の寒漬け大根づくりプロジェクトもいよいよ最終工程に入りました。2月12日、前もって切っていたいただいていた大根を茹でて絞りと、調味料の分量をしっかりと計りながら漬け込みを行いました。まだまだ色の白い大根ですが、これがしっかりと味のしみだ寒漬けになるのもあとわずか。帰りには、坂口様が既に作られた今年の寒漬けを一人一人いただき、仕上げへの期待に胸を膨らませた子供たちです。



この後、3月3日に芦北・水俣の店舗をお借りして販売実習を行います。お時間がある方は、ぜひ販売先へお越しいただき、子供たちへの励ましをお願いします。

熊本県学力学習状況調査結果及び分析

12月に実施された1,2年生対象の県学力学習状況調査の結果が公表され、その結果分析を行いました。今回は紙ではなくタブレットを活用した学力検査でした。日頃から情報端末等は扱っているとはいえ、問題を解く、入力する作業には苦労していました。しかし、これまで取り組んできた学習の成果の一端は感じられる結果となっています。

【学力の状況】

- ◎1,2年生ともに、国語、数学、英語の3教科の正答率において、県平均を上回っている。1年英語は、全国平均も上回っている。
- 本町予算で実施した社会、理科では、1年生は全国平均を上回り、2年生は若干下回る結果となっている。
- 正答率3割未満の生徒は、両学年ともに15%未満だった。
- 全教科を通じて課題として挙げられたのは観点別では「思考・判断・表現」、領域では「情報の扱い方に関する事項」だった。

【生徒質問紙の状況】

- 1年生では「自分の頑張り先生が認めてくれる」が県差+13。2,2年生では「クラスは先生の言うことを守っている」が県差+47.6と、一番高い項目となっている。
- 課題としては、1年生では「弱点克服に向けた自学自習への意識」、2年生では「勉強がどう社会に繋がるのかの実感」があげられる。

【今後の対策や取組】

- ◇基礎基本の徹底を踏まえ、全ての教科で文章を「読み解く力」や自ら「考える力」を高め「表現できる」場の設定や方法の工夫を図っていく。
- ◇自学ノートやマイアセス（県学調の結果をもとにした個別課題）を活用した、個別の主体的な学びをさらに推進する。
- ◇生徒一人一人のがんばりを「認め、褒め、励まし、伸ばす」教育の実践とともに、実社会につながる授業展開を意識しながらキャリア教育の推進を図る。